



2024年度

箕島21号線・6-1

福山市 箕島 町 地内

通学路整備工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=53.1m	
	道路幅員	W=4.9~5.0m	
	側溝工	L=54m	
	集水桝工	N=1基	
	舗装工	A=16m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路整備課 通学路整備工事（箕島21号線・6-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第6節 現場代理人の常駐義務の緩和

現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。

（※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次のアからエのいずれかの条件に該当する場合です。

（必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）

ア 現場作業着手前までの期間

イ 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

エ 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市上下水道局、福山ガス株式会社、西日本電信電話株式会社
- ・協議内容：地下埋設物の確認

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

- 「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。
 - ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
 - ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026年（令和8 年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～16に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

- ア 労務費 1.04
- イ 機械経費（賃料） 1.02
- ウ 共通仮設費 1.03（港湾工事を除く。）
- エ 共通仮設費 1.02（港湾工事に限る。）
- オ 現場管理費 1.05（港湾工事を除く。）
- カ 現場管理費 1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

- ア 労務費 1.02
- イ 機械経費（賃料） 1.02
- ウ 共通仮設費 1.02
- エ 現場管理費 1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

- ア 労務費 1.02
- イ 機械経費（賃料） 1.02
- ウ 共通仮設費 1.02
- エ 現場管理費 1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

- ア 労務費 1.05
- イ 機械経費（賃料） 1.04
- ウ 共通仮設費 1.04
- エ 現場管理費 1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

- 15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4 週 8 休以上	月単位 4 週 8 休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日
モデル工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-06.07.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路維持					Y1G01 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G010302 レベル3
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】	1	式			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下		m			SPK23040306 00
	54	m			単第0 -0001 表
舗装版破碎(小規模) 【舗装版種別】					Y1G01030203 レベル4
		m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK23040018 00
	21	m2			単第0 -0002 表
殻運搬 【殻種別】					Y1G01030205 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	1	m3			SPK23040152 00 単第0 -0003 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G01030206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設副産物受入費 アスファルト殻	3	t			F0001 00
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1G01030208レベル4
上層路盤 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	16	m2			SPK23040235 00 単第0 -0004 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	16	m2			SPK23040241 00 単第0 -0005 表
排水構造物工	1	式			Y1G0104 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業土工					Y1G010401 レベル3
	1	式			
床掘り 【土質】		m3			Y1G01040102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK23040015 00
	20	m3			単第0 -0006 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1G01040103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK23040020 00
	10	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1G01040111レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)					SPK23040002 00
	8	m3			単第0 -0008 表
残土等処分		m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土受入費 土砂					F0002 00
側溝工	8	m3			Y1G010403 レベル3
自由勾配側溝 【側溝規格】	1	式			Y1G01040313レベル4
		m			
自由勾配側溝 300×300×2000					SDT00015 00
	2	m			単第0 -0009 表
自由勾配側溝 300×600×2000					SDT00015 00
	52	m			単第0 -0010 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)					T1030063 00
	2	m3			
側溝蓋 【蓋版の規格】					Y1G01040314レベル4
		枚			
蓋版 自由勾配側溝ふた 300[400×95×500]					SDT00017 00
	39	枚			単第0 -0011 表
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量					SDT00017 00
	13	枚			単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間詰工					Y4999 レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	1	m3			SPK23040154 00 単第0 -0013 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.5	m2			SPK23040156 00 単第0 -0014 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	5	m2			SPK23040122 00 単第0 -0015 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.03	t			SS000099 00 単第0 -0016 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	106	孔			SPK23040118 00 単第0 -0017 表
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め無し	3	m3			SPK23040020 00 単第0 -0018 表
再生砂	4	m3			T0249 00
集水枳・マンホール工	1	式			Y1G010405 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャスト集水桝 【桝規格】		箇所			Y1G01040504レベル4
1号集水桝 T-25、300×300×1000 110°開閉 細目	1	箇所			V0001 00 単第0 -0019 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0124 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G012406 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】	1	m3			Y1G01240601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	11	m3			SDT00031 00 単第0 -0023 表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1G01240602レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	53	m			SPK23040306 00 単第0 -0024 表
運搬処理工	1	式			Y1G012416 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G01241601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	11	m3			SPK23040152 00 単第0 -0025 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設副産物受入費 コンクリート殻（無筋）	26	t			F0003 00
仮設工	1	式			Y1G0126 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G012621 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G01262101レベル4
交通誘導警備員B	22	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額

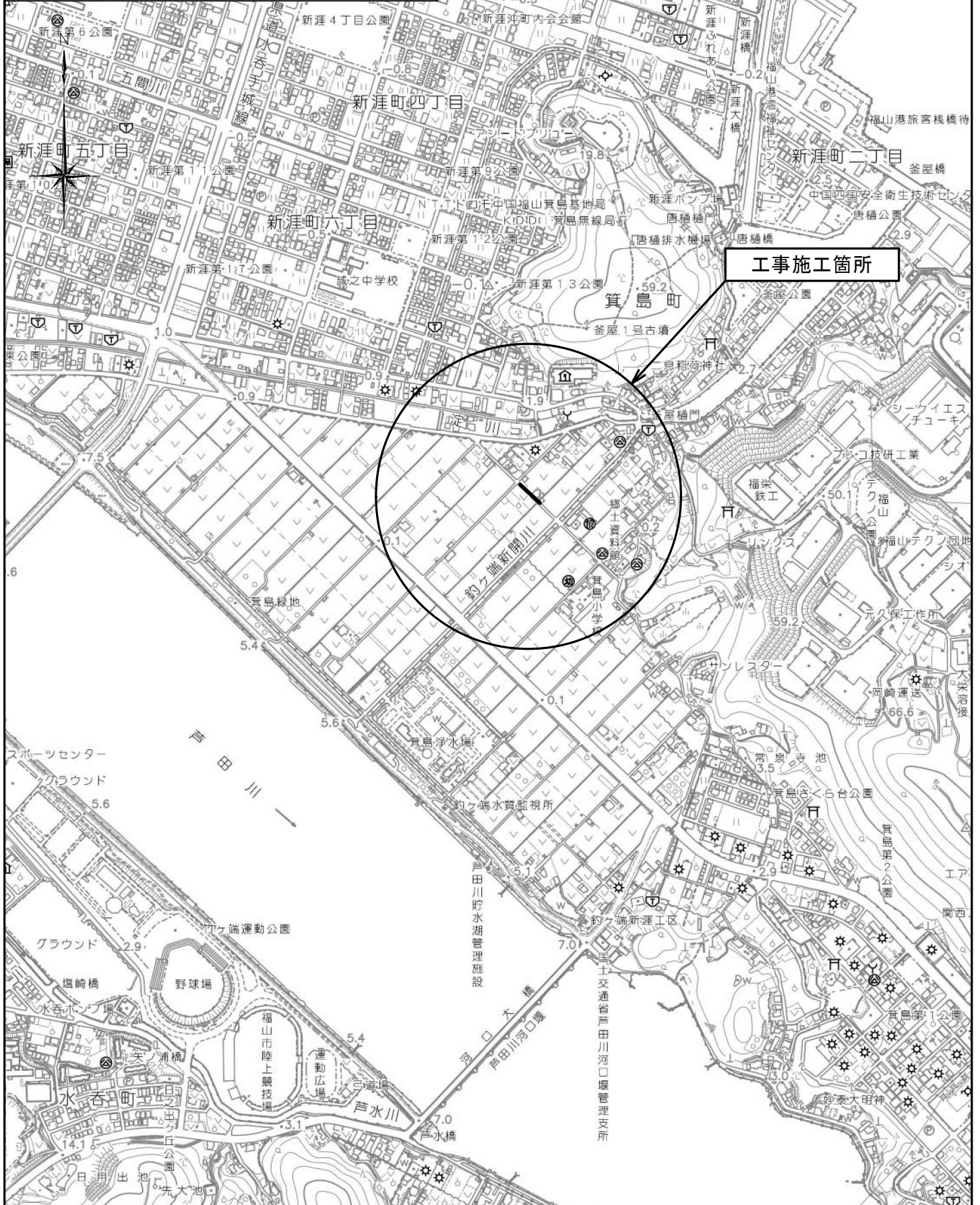
本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

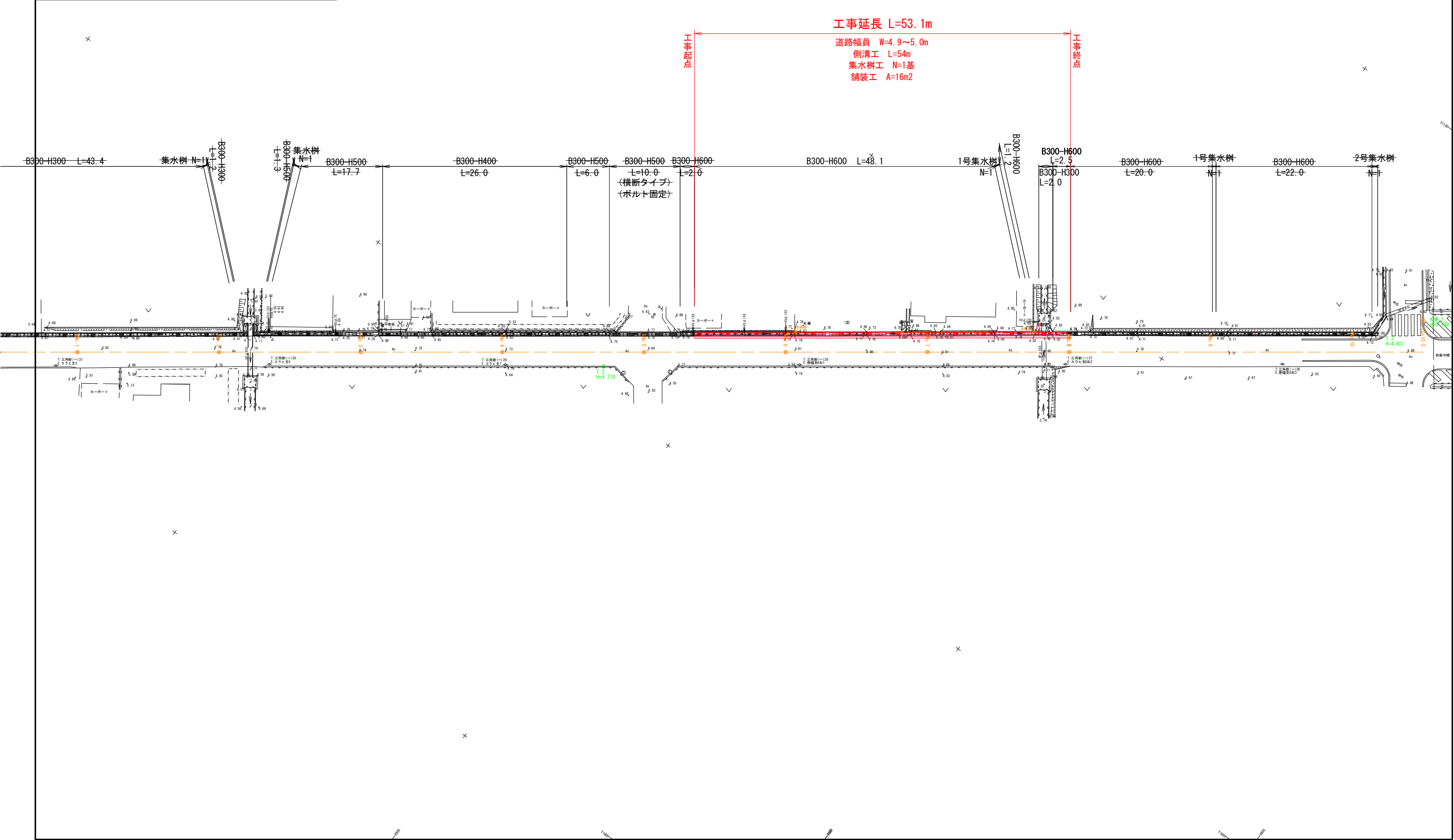
図面番号	1/5	縮 尺	S=1:10,000	
工 種	通学路整備工事			
種 別	位置図		番号	1/1
橋 梁 名	箕島21号線・6-1			
工事箇所	福山市箕島町地内			
福 山 市				

令和6年度
国
補



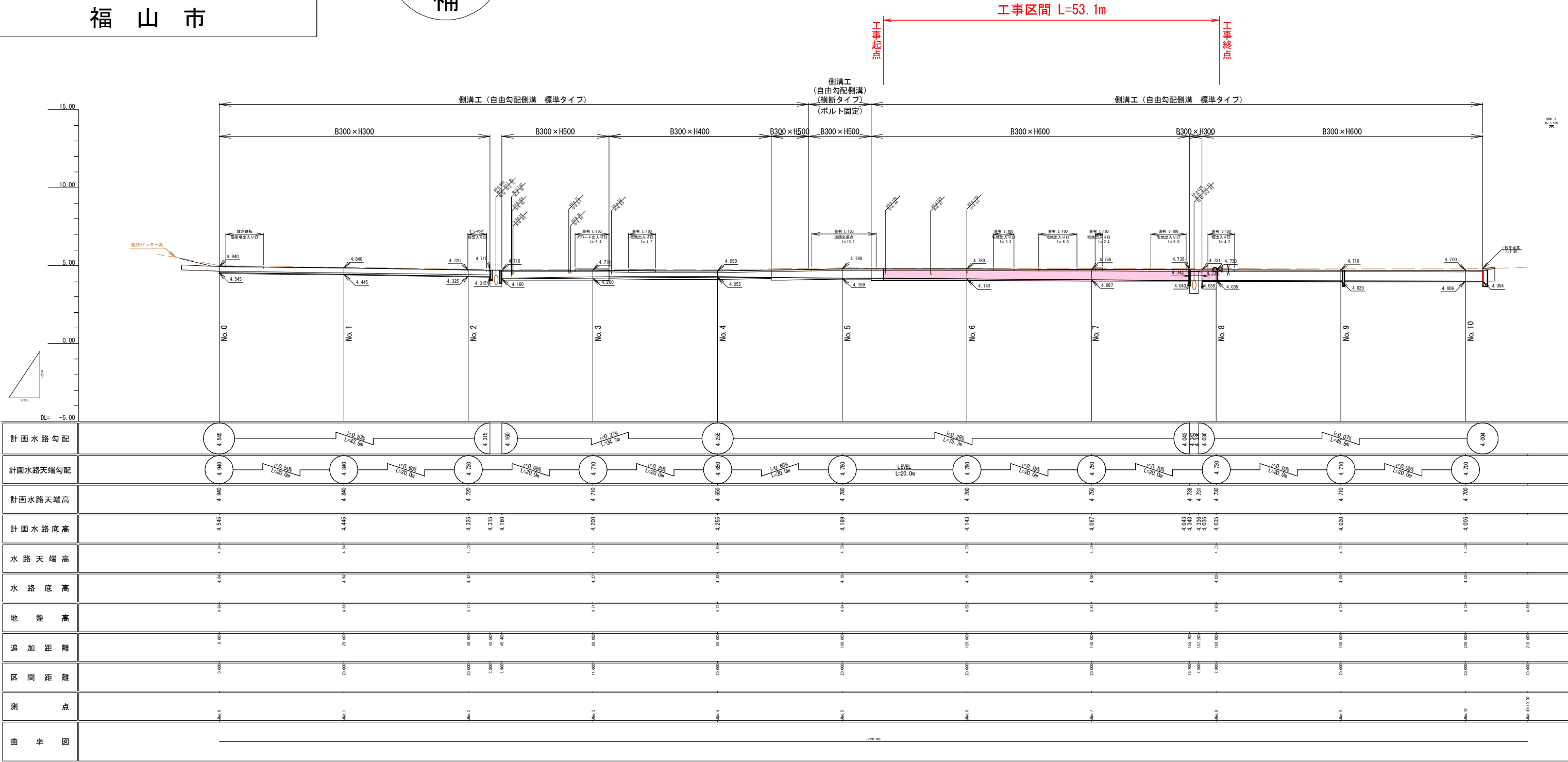
図面番号	2／5	縮 尺	S=1:500
工 種	通学路整備工事		
種 別	平面図		
路 線 名	箕島21号線・6－1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
福 山 市			

令和6年度
国補



図面番号	3／5	縮	尺	図	示
工 種	通学路整備工事				
種 別	縦断面図				
路 線 名	箕島21号線・6-1				
工事箇所	福山市箕島町地内				
福 山 市					

令和6年度
国
補



令和6年度
国補

規 格	H	基礎コンクリート	型枠	基礎砕石
a×h				
300× 300	445	0.028	0.05	0.6
300× 400	545	0.028	0.05	0.6
300× 500	645	0.028	0.05	0.6
300× 600	745	0.028	0.05	0.6

The diagram compares two foundation construction methods. On the left, labeled 'エラストイト使用' (Elastomer use), a cross-section shows a foundation with a central cavity. Dimensions include a total width of 100, a top layer of 250, and a central cavity of 200. A label 'D13#500' points to a reinforcement bar. On the right, labeled '型枠使用' (Cast-in-place concrete use), a similar cross-section is shown. It also has a total width of 100 and a top layer of 250. A label '型枠' (Formwork) points to the outer edge, and 'D13#500' points to a reinforcement bar. Both diagrams show a central cavity and a base layer.

区間	延長	径	1本当り長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重 量
NO. 5+7. 1～NO. 8+0. 2	52. 6m	D13	0. 25	106	0. 995	0. 25	26. 5
合 計 D13						26. 5 Kg	

区間	延長	高さ	数 量
NO. 5+7. 1~NO. 7+15. 2	48. 1	0. 10	4. 81 m ²
合計			4. 81 m ²

区間	延長	高さ	数 量
NO. 7+15.7~NO. 8+0.2	4.5	0.10	0.45 m ²
合計			0.45 m ²

4.80m~4.90m

GH= 現況地盤高
FH= 計画水路底高

民地 ← 官地

W=0.30

側溝工
B300-H300~H600
(自由勾配側溝)

▽ GH
As

Fu(Co)

C(As)=舗装版破碎 (小規模)
(アスファルト舗装版 t=50)

▽ FH

Fu(砂)

基礎コンクリート (18-8-40BB)
t=5cm W=0.55m

W1= 表層工 (再生密粒度アスコン (13)) t=3cm
瀝青材料無し

コンクリート切断
15cm以上30cm未満

W2= 上層路盤工 (再生粒度調整砕石 RM-30) t=12cm

E=床掘
Fu=埋戻

基礎砕石 (RC-40)
t=7.5cm W=0.60m

Fu(Co)=間詰コンクリート
C(Co)=コンクリート取壊し

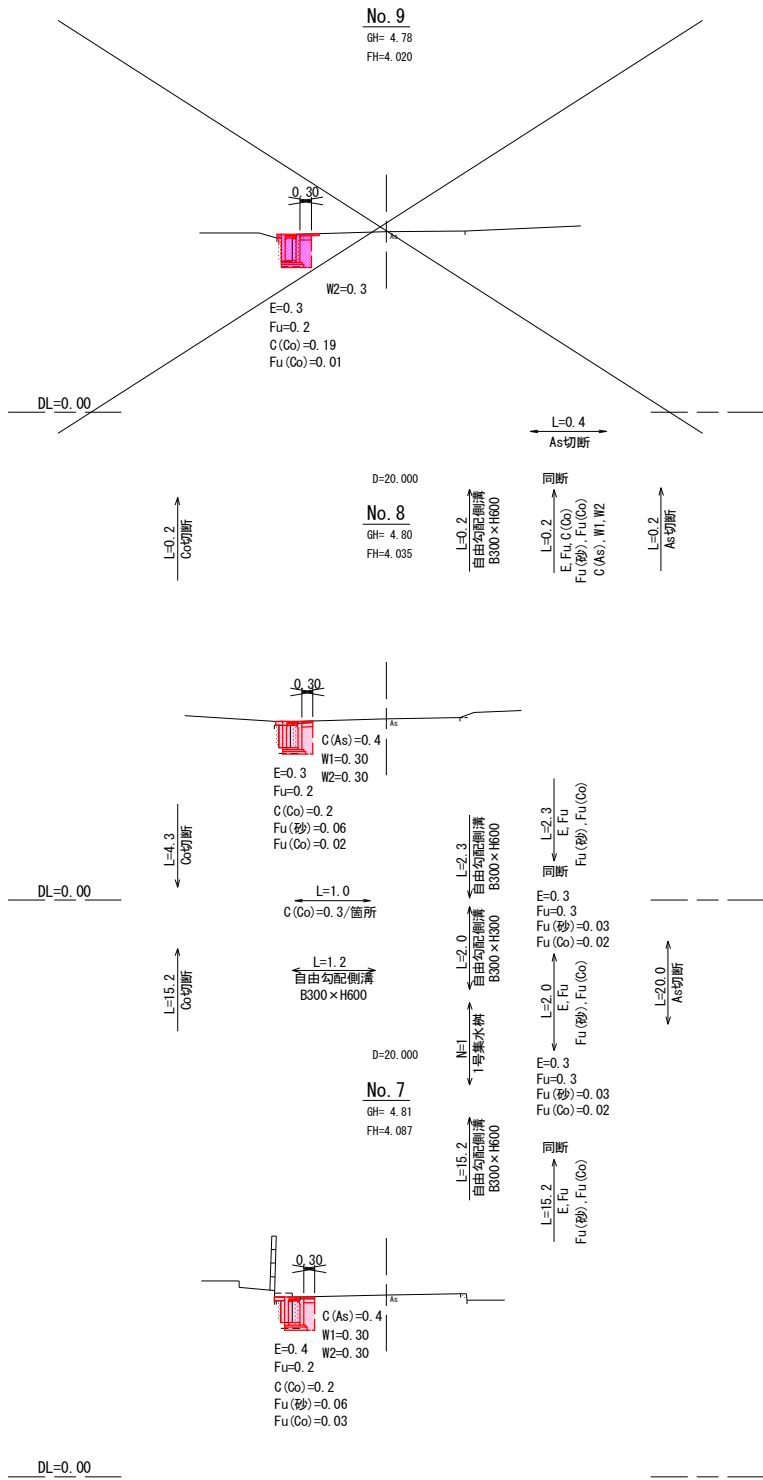
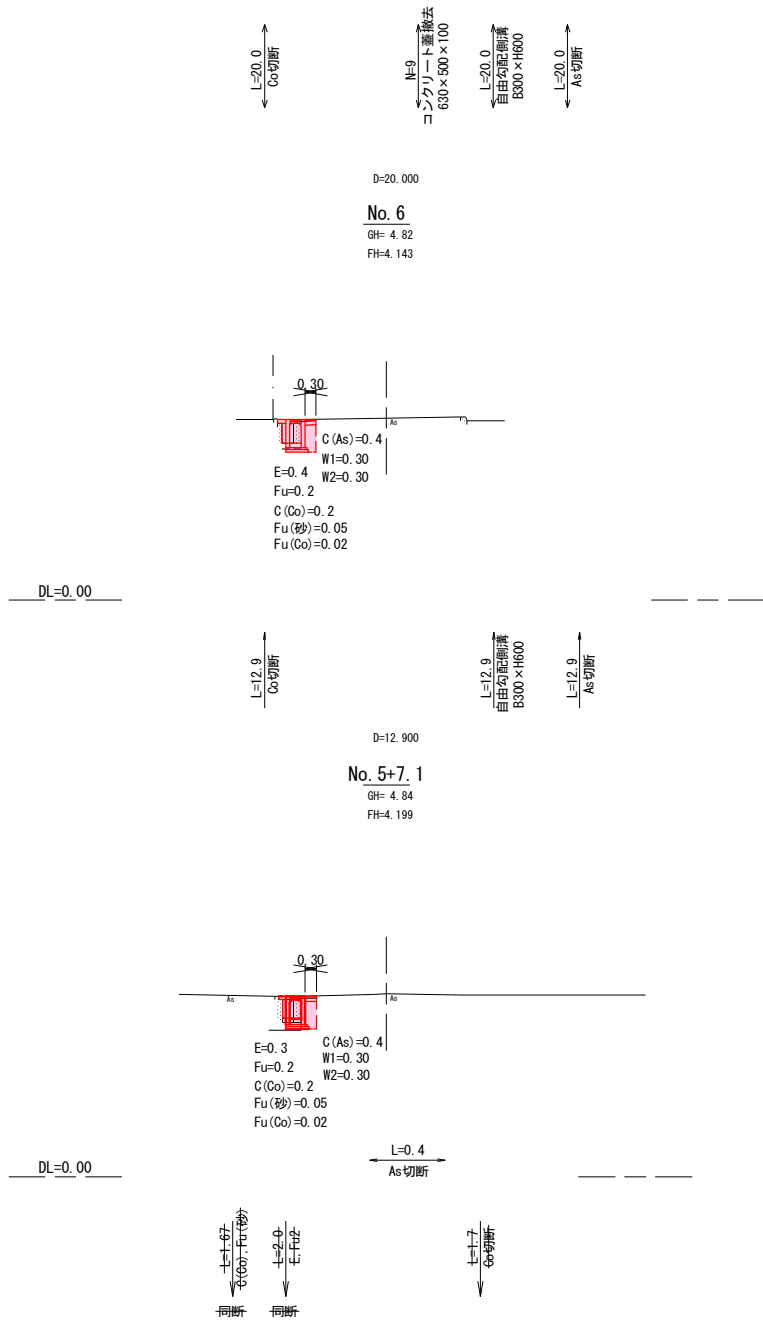
工 種	記 号	種 別	規 格
作業土工	E	床掘り(硬質土)	
	Fu	埋戻し(流用土)	
	Fu(砂)	埋戻し(砂)	
	Fu(Co)	埋戻し(コンクリート)	
舗 装 工 (As舗装)	W1	表層工	再生密粒度 As13 t=3cm
	W2	上層路盤工	再生粒度調整砕石 RM-30 t=12cm
	C(As)	舗装版砕砕 (小規模)	アスファルト舗装 t=64
構造物撤去工	C(Co)	コンクリート取壊し	無筋コンクリート構造物

種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	0.52 m ²
基礎コンクリート	σ 欝=18N/mm	0.04 m ³
型 枠		0.2 m ²
インパットコンクリート	σ 欝=18N/mm	0.01 m ³
蓋	グレーチング 14kg/枚	1.00 枚
集水樹	300×300×1000 293kg/基	1.00 基
床 掘		1.8 m ³
埋 戻		1.5 m ³

図面番号	5／5	縮 尺	S=1:200
工 種	通学路整備工事		
種 別	横断面図		
路 線 名	箕島21号線・6－1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
福 山 市			



横断面図
S=1：200



これ以降 参考図書

施工単価表

頁0 -0001

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 6.05% 労務構成比: 55.50% 材料構成比: 38.45% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040306
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0001 表
標準単価: 1 m 580.65000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0002

鋪裝版切断

SPK23040306

單第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.05%

勞務構成比：

55.50%

材料構成比: 38.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

580.65000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK23040018

単第0 -0002 表

機械構成比: 21.98% 労務構成比: 69.33% 材料構成比: 8.69% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,587.70000 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	21.98%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0004

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 19.19% 労務構成比: 71.06% 材料構成比: 9.75% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040152
DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)

単第0 -0003 表
1
標準単価: 3,088.70000

m3 当り
3,088.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

頁0 -0005

上層路盤
全仕上り厚120mm 1層施工
機械構成比: 5.44% 労務構成比: 65.81% 材料構成比: 28.75% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040235

単第0 -0004 表

1
標準単価:

m2 当り
809.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.82%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.47%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30～0mm	26.66%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤
全仕上り厚120mm 1層施工
機械構成比: 5.44% 労務構成比: 65.81% 材料構成比: 28.75% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040235

単第0 -0004 表

1
標準単価:

m2 当り
809.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=120 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0007

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0005 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.49% 労務構成比:

45.71%

材料構成比: 53.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,499.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.27%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	48.82%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.71%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0008

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0005 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

標準単価:

2,499.80000

機械構成比: 0.49%

労務構成比: 45.71%

材料構成比: 53.80%

市場単価構成比: 0.00%

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) -(全ての費用)		B=30 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.81% 労務構成比: 71.39% 材料構成比: 7.80% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0006 表

1
標準単価: m3 当り
2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0010

埋戻し
土砂

SPK23040020
上記以外(小規模)

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m3 当り
3,655.50000

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0011

埋戻し
土砂

SPK23040020

單第0 -0007 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

勞務構成比：

85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,655.50000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.13% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 12.95% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040002
DID区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)

単第0 -0008 表
1
標準単価: 1,363.40000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=16 距離3.5km以下(2.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

自由勾配側溝
300×300×2000

SDT00015

単第0 -0009 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*300*2000 参考質量322kg	0.500	本			
再生クラッシュラン 40～0mm	0.054	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	0.030	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40			B=1 300×300×2000 F=1 - I=0.45 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		
J=2 基礎及び底部Co(各種) L=0.28 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			K=2 【F】 基礎及び底部Co(m3) M=1 -		

施工単価表

自由勾配側溝
300×600×2000

SDT00015

単第0 -0010 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*600*2000 参考質量558kg	0.500	本			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.054	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	0.030	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40			B=4 300×600×2000 F=1 - I=0.45 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		
J=2 基礎及び底部Co(各種) L=0.28 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			K=2 【F】 基礎及び底部Co(m3) M=1 -		

施工単価表

頁0 -0015

蓋版

SDT00017

單第0 -0011 表

自由勾配側溝ふた

$$300[400 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

蓋版
蓋版(各種) $40 \geq \text{重量}$

SDT00017

單第0 -0012 表

枚 当り

[illegible]

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0013 表

1

m3

当り

小型構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

標準単価：

29,616.00000

機械構成比：0.00%

労務構成比：44.86%

材料構成比：55.14%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK23040156

単第0 -0014 表

小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
8,042.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

目地板		SPK23040122		単第0 -0015 表	
1工事当り使用量30m2未満		瀝青繊維質目地板t=10mm		1	
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 63.91%		標準単価: 3,582.40000	
材料構成比: 36.09%		市場単価構成比: 0.00%		m2 当り	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	備考
普通作業員		47.33%		普通作業員	RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		16.27%		土木一般世話役	RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)	ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm		36.09%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm	TTPC00199 TTPT00199
積算単価				積算単価	EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満				B=1 瀝青繊維質目地板t=10mm	

施工単価表

頁0 -0020

鉄筋工
SD345_D13

SS000099

單第0 -0016 表

一般構造物 [規]10t未満

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

単第0 -0017 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.21% 労務構成比: 95.42% 材料構成比: 2.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 907.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.04%		<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	0.73%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.90%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0022

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

單第0 -0017 表

1

孔 当り

削孔深さ200mm以上400mm以下

機械構成比: 2.21% 勞務構成比: 95.42%

材料構成比: 2.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

907.74000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

埋戻し
土砂

SPK23040020

單第0 -0018 表

現場制約あり 締固め無し

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

勞務構成比：

100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5,352.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

1号集水枋

T-25、300×300×1000

V0001

110 ° 開閉 細目

單第0 -0019 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

プレキャスト集水桝

SPK23040095

単第0 -0020 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 13.69%

労務構成比:

83.34%

材料構成比:

2.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,511.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	11.04%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	36.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0026

プレキャスト集水桝

SPK23040095

單第0 -0020 表

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 13.69%

勞務構成比：

83.34%

材料構成比: 2.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5,511.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0021 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比:

37.95%

材料構成比:

57.73%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0028

コンクリート

SPK23040154

單第0 -0021 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32% 勞務構成比:

37.95%

材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

29,669.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK23040156
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0022 表

1
標準単価:

m2 当り
8,890.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0030

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

SDT00031

單第0 -0023 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0024 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下

1 m 当り

機械構成比: 9.87%

労務構成比:

34.84%

材料構成比: 55.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,038.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径φ75cm	6.67%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径φ75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	12.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)	24.95%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	17.10%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径35cm(14インチ)	10.46%		コンクリートカッターブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344

施工単価表

頁0 -0032

鋪裝版切断

SPK23040306

單第0 -0024 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下

1 m 当り

機械構成比: 9.87%

勞務構成比：

34.84%

材料構成比: 55.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,038.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 42.35% 労務構成比: 42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%
SPK23040152
DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)
単第0 -0025 表
1
標準単価: 3,135.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		42.40%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		15.25%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=61	機械積込 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

本 工 事 総 括 表

[illegible]

土 量 配 分 表

			建設発生土処分			
			21.8	-	13.6	= 8.2
			(床掘)		(埋戻し)	
床掘	水路工（礫質土） （計第1表）	21.8	埋戻流用 13.6			
	合計	21.8				
			埋戻流用（締め固め後）			
			水路工（礫質土）（計第1表）			
			13.6	×	0.9	= 12.2
			合計			
			12.2			

計算表 第 1 表

作業土工 (水路工)

各種数量計算書

測点 種類	区間距離	床 掘 (E)				埋戻し (Fu)							
		補正距離	断面	平 均	数 量	補正距離	断面	平 均	数 量				
No. 5+7. 1			0. 3				0. 2						
No. 6	12. 9		0. 4	0. 35	4. 5		0. 2	0. 20	2. 6				
No. 7	20. 0		0. 4	0. 40	8. 0		0. 2	0. 20	4. 0				
	15. 2		0. 4	0. 40	6. 1		0. 2	0. 20	3. 0				
			0. 3				0. 3						
	2. 0		0. 3	0. 30	0. 6		0. 3	0. 30	0. 6				
			0. 3				0. 2						
No. 8	2. 3		0. 3	0. 30	0. 7		0. 2	0. 20	0. 5				
	0. 2		0. 3	0. 30	0. 1		0. 2	0. 20	0. 0				
1号集水桝					1. 8				1. 5				
小計	52. 6				21. 8				12. 2				

計算表 第 2 表
排水構造物工（水路工）

各種数量計算書

測点	幅＝ 300	底張コンクリート				水路工（B=300 L=2000）									
	高さ	補正距離	幅300× 高さ	平 均	数 量	H=300	H=400	H=500	H=600						
No. 5+7. 1	0. 144		0. 04												
No. 6	0. 108	12. 88	0. 03	0. 04	0. 52				12. 9						
No. 7	0. 082	20. 00	0. 02	0. 03	0. 60				20. 0						
No. 7+15. 2	0. 051	15. 19	0. 02	0. 02	0. 30				15. 2						
	0. 050		0. 02												
No. 7+15. 7	0. 050	1. 23	0. 02	0. 02	0. 02				1. 2						
	0. 050		0. 02												
No. 7+17. 7	0. 050	2. 00	0. 02	0. 02	0. 04	2. 0									
	0. 051		0. 02												
No. 8+0. 2	0. 050	2. 50	0. 02	0. 02	0. 05				2. 5						
合 計		53. 8			1. 53 m3	2. 0 m	m	m	51. 8 m	m	m				

計算表 第 3 表

間詰工（水路工）

各種数量計算書

測点	種類 区間距離	間詰コンクリート (Fu(Co))				埋戻し (Fu(砂))							
		補正距離	断面	平均	平積	補正距離	断面	平均	数量				
No. 5+7. 1			0. 02				0. 05						
No. 6	12. 9		0. 02	0. 02	0. 26		0. 05	0. 05	0. 6				
No. 7	20. 0		0. 03	0. 03	0. 60		0. 06	0. 06	1. 2				
	15. 2		0. 03	0. 03	0. 46		0. 06	0. 06	0. 9				
			0. 02				0. 03						
	2. 0		0. 02	0. 02	0. 04		0. 03	0. 03	0. 1				
			0. 02				0. 06						
No. 8	2. 3		0. 02	0. 02	0. 05		0. 06	0. 06	0. 1				
	0. 2		0. 02	0. 02	0. 00		0. 06	0. 06	0. 0				
合 計	52. 6				1. 41				2. 9				

計算表 第 4 表
舗装工 (アスファルト舗装)

各種数量計算書

測点	種類 区間距離	アスファルト舗装工 (W1)				上層路盤工 (W2)							
		補正距離	幅員	平 均	数 量	補正距離	幅員	平 均	数 量	補正距離	幅員	平 均	数 量
No. 5+7. 1			0. 30				0. 30						
No. 6	12. 9		0. 30	0. 30	3. 9		0. 30	0. 30	3. 9				
No. 7	20. 0		0. 30	0. 30	6. 0		0. 30	0. 30	6. 0				
No. 8	20. 0		0. 30	0. 30	6. 0		0. 30	0. 30	6. 0				
	0. 2		0. 30	0. 30	0. 1		0. 30	0. 30	0. 1				
合 計	53. 1				16. 0				16. 0				

計算表 第 5 表
 構造物撤去工（既設舗装撤去工）

各種数量計算書

測点 種類	区間距離	既設舗装撤去工（C（As））											
		補正距離	幅	平 均	数 量	補正距離		平 均	数 量	補正距離		平 均	数 量
No. 5+7. 1			0. 40										
No. 6	12. 9		0. 40	0. 40	5. 2								
No. 7	20. 0		0. 40	0. 40	8. 0								
No. 8	20. 0		0. 40	0. 40	8. 0								
	0. 2		0. 40	0. 40	0. 1								
合 計	53. 1				21. 3								

計算表 第 6 表
構造物取壊し工（無筋構造物）

各種数量計算書

測点	種類 区間距離	無筋構造物取壊し工 (C(Co))											
		補正距離	断面	平均	数量								
No. 5+7. 1			0. 2										
No. 6	12. 9		0. 2	0. 20	2. 6								
No. 7	20. 0		0. 2	0. 20	4. 0								
No. 8	20. 0		0. 2	0. 20	4. 0								
	0. 2		0. 2	0. 20	0. 0								
No. 7+17. 5付近	現場打水路				0. 3								
No. 6+15. 0付近	Co蓋	0. 63×0. 50×0. 10×9=			0. 3								
		(N=9枚 : 630×500×100)											
合 計					11. 2								

計算表 第 7 表

構造物撤去工

各種数量計算書

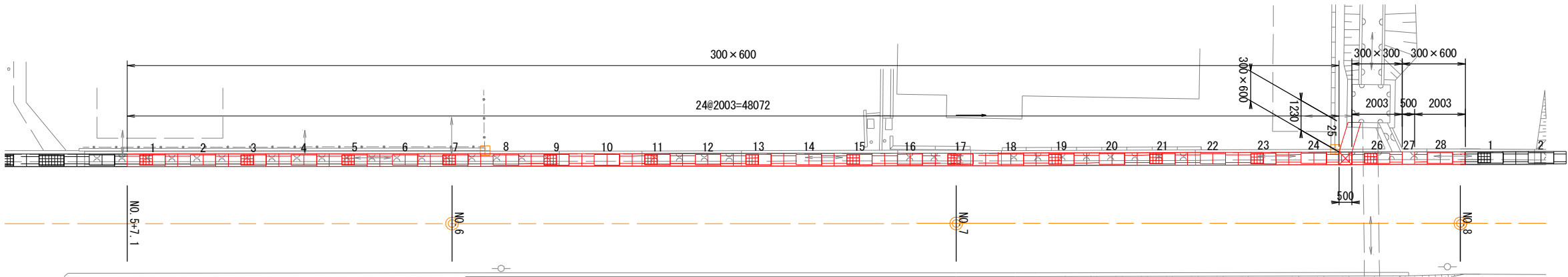
測点	種類 区間距離	アスファルト舗装切断		コンクリート切断			
		横断	縦断	15cm以下	15cmを超え30cm以下		
NO. 5+7. 1		0. 4					
NO. 6			12. 9		12. 9		
NO. 7			20. 0		20. 0		
NO. 8			20. 0		15. 2 4. 3		
NO. 8+0. 2			0. 2		0. 2		
		0. 4					
合計		0. 8 m	53. 1 m	m	52. 6 m		

図面番号	1/1	縮	尺	図	示
工種	通学路整備工事				
種別	側溝工割付図（参考図）				
路線名	箕島21号線・6－1				
工事箇所	福山市箕島町地内				
福山市					



※施工時の製品の伸びを3mm見込む。

平面割付図
1/200



数量表 (No. 5+7.1～No. 8+0.2)

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位
グレーチング蓋	300	500	T-25・細目	13	枚
コンクリート蓋	300	500	車道・T-25	39	枚

縦断割付図
H=1/200 V=1/40

